

事業名：グリーンイノベーション基金事業

論点 1 適切な成果目標やアウトプットの設定に向けて検討を進めるべき。

- ☐ GXという政策目標に対し、プロジェクトごとではなく基金全体の成果について、適切に評価するための成果目標の在り方について検討し、早期に具体的な設定をすべき。
- ☐ 「実施者が決定した研究開発項目数」のみならず、各プロジェクトで実施者にどのような支援がされたかについても、アウトプットで示すような工夫を行うべき。

論点 2 事業目的を踏まえ、支援の在り方について検討を深めるべき。

- ☐ 支援スキームについて、当初から補助事業とするなど、企業にも相応の負担を求めて主体的に参画させることで、より少ない予算で事業目的を実現することができないかを検討すべき。
- ☐ エネルギー・環境系の分野において、日本における優位な領域や将来性のある技術分野を示し、本事業を通じてそうした分野に投資を促進することを検討すべき。

論点 3 GXについて目指すべき将来像を示すべき。

- ☐ 民間投資を引き出すためにも予見可能性を高める必要がある。将来像や数値目標を示し、そうした目標と照らし合わせて、本事業の進捗を評価すべき。

論点 4 事業の効果測定のためのデータ取得や利用方法などを検討すべき

- ☐ 企業の国際競争力や代替技術の開発動向などについて、必要なデータを取得するとともに、その利用方法についても検討し、新たな政策等に活用すべき。